

2019 年度事業計画
(2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで)

1、フードバンク事業

(1) フードドライブ

① 次のイベントでの食品寄贈活動を予定します。

- ・ 6 月 狛江市環境月間こまエコ祭り / ・ 10 月 消費生活展 暮らしフェスタ / ・ 10 月 市庁舎 フードドライブ
 - ・ 11 月 パルシス 狛江 センター 祭り / ・ 11 月 狛江 市民 まつり / 2019 年 3 月 中央 公民館 の 集い
- 総会 や 交流会、講演会 など 主催 する イベント でも 食品 寄贈 を 呼び かけ て い きます。

② 通年 での 食品 寄贈 活動

- 倉庫 / 連絡 事務所 での 食品 寄贈 受け 付け を はじめ、毎月 第 1 火曜日 定例 の 狛江市 ビン・缶リサイクル センター での フードドライブ や 常設 4 か所 の 食品 寄贈 ケース 設置 場所 での 食品 寄贈 拡大 を 図り ます。また、引き続き 常設 の 寄贈 受付 場所 の 拡大 に も 努め ます。
- 生活 協同 組合 4 団体 (東京 南部 生協、パルシステム 東京、東都 生協、コープ みらい) と の 連携 を 強め、各 生協 組合 員 による フードドライブ へ の 協力 や イベント へ の 参加 で 食品 寄贈 の 拡大 を 図り ます。コープ みらい の 店舗 での フードドライブ は 5 月 で 終了 と なり ます が、違 う 形 で の 連携 を 模索 し て い きます。
- 連携 団体 (食品 提供 団体 など) に フードドライブ や フードバンク の 周知 協力 を 求め て い きます。
- 企業 ・ 団体 の 備蓄 品 の 受入れ を 行う と とも に、食品 関連 企業 の 開拓 に も 努め ます。
- 食品 寄贈 量 の 目標 を 設定 し、達成 する こと で 生活 困窮 者 や ひとり 親 支援 の 拡充 を 図り ます。

(2) 福祉 施設 ・ 団体 へ の 食品 提供

地域 の 福祉 や 教育 の 支援 に 携わ る 団体 と 繋がる こと で、食品 等 の 提供 に よって 少しでも その 活動 の 支え と なり、また フードバンク 活動 へ の 理解 を 広げる 活動 を、新た に 3 団体 以上 と の 連携 を 目標 に 取組 みます。

2、食 の セーフティ ネット 事業

(1) 食 の 支援 を 必要 と する 生活 困窮 世帯 と 繋がる ため に

- ① 子育て 支援 課 と 連携 し て、ひとり 親 世帯 に 学校 給食 の ない 時期 の 緊急 食料 支援 を 実施 し て 行 きます。
- ② 連携 する 団体 と 情報 の 共有 化 を 図り、フードバンク の 活用 を 周知 し て 食料 支援 要請 に 応える 体制 作り を 進め ます。
- ③ 狛江市 の 「こま え 子育て 応援 プラン」 策定 に、行政 サービス と し て 食料 支援 の 明記 と その 支援 策 へ の 何らか の 補助 を 求め て い きます。

(2) こま YELL を 通じ た 食料 支援

- ① 狛江市 福祉 相談 課、こま YELL と の 連携 を 強め、支援 回数 の 増加 に 対応 する 提供 方法 の 検討 や 安心 安全 で きめ 細かな 食品 提供 の 充実 に 努め ます。その ため、こま YELL と の 二者 協議 の 定例 化 と モチベーション を 高める ため の 支援 世帯 と の 交流 を 模索 し て い きます。
- ② 生活 困窮 世帯 を 対象 に こま YELL の 行う 学習 支援 家庭 に、お菓子 や 飲料 の 提供 を 継続 し ます。

(3) 電話 や SNS など で 入った SOS に も、緊急 食料 支援 と し て できる 限り 対応 し ます。

(4) 個人情報保護方針に基づき、プライバシーの保護を徹底し事業を進めます。

3、フードバンクの普及・啓発事業

(1) 地域の諸団体との「フードバンクとつながる団体交流会」開催

7月に昨年に続き、地域で必要とされるフードバンクのあり方を提起し連携を強めることで、フードバンクを更に地域に根付かせて行くことを目的に交流会の開催を予定します。

(2) 仮称「食品ロス問題を考える…食品ロスを減らし、活かす地域社会を！」講演会を開催します。

フードバンク支援を明記した「食品ロス削減推進法案」成立の動きの中、表題(仮)の趣旨で世界的に注目される日本フードエコロジーセンターの高橋功一氏を招き、市の環境部と共催で10月に講演会を開催する。地域の諸団体に呼びかけて実行委員会形式での取組みを目指す。

(3) 広報活動の展開

- ① ニュースレターの定期発行、facebook、ホームページなどで積極的な情報発信に努めます。
- ② フードバンク粕江の活動を知ってもらい食品寄贈の拡大を図るために、ひとり親応援や講演会開催時のチラシを作成し、市内に配布して行きます。
- ③ イベント開催時に、広報も兼ねてポップコーン販売と活動紹介のパネル展示を行います。

4、フードバンク活動を普及するための調査・研究事業

フードバンク活動の認知度を知り、今後の事業展開の参考資料にするために、各事業の対象者にアンケートを実施します。夏・冬・春のひとり親子育て支援時、こま YELL の食料支援利用者、講演会時などを予定します。

5、組織運営の安定化と組織基盤の確立を目指します

(1) 倉庫/連絡事務所機能の充実と安心・安全な食品管理を目指して

- ① 倉庫/連絡事務所での活動を有償スタッフ2名体制で開所日活動の充実を図るとともに、ボランティアや地域の諸団体との交流の場としても活用して行きます。
- ② 納品書の取り扱いの変更に伴い、適切な食品整理や在庫管理方法を検討し改善に努めます。また引き続きボランティアの募集を行い、食品取り扱いの担い手育成を図ります。
- ③ 食品管理から組織管理まで事務データの入力フォームの見直しとマニュアル化を進めます。

(2) ボランティアの参加と研修

- ① 毎月第4日曜の開所日活動は活動の必要性がないことから見直しを行う一方、日曜開所日に合わせて開催したサンデーミーティング(ボランティア会議)を研修の場として引き続き継続して行って行きます。
- ② 役員・ボランティア研修を目的に、他フードバンクの視察見学や地域の他団体への視察交流を実施します。

(2) 組織を確かなものにするために

- ① 理事会を中心に、3年間の総括と組織診断に基づく課題解決を図ります。
- ② 事務局の企画執行機能を高めて効果的な組織運営に努めます。
- ③ 財政基盤の確立のために、積極的な会員、賛助会員(個人・団体)の拡大と地域の企業・商店に訪問活動による賛助と寄付呼びかけを行うとともに、ファンドレイジングの専門的な支援を受けてこの取組みを進めて行きます。

2019年度 活動予算

2019年 4月 1日から 2020年 3月 31日まで

特定非営利活動法人フードバンク狛江

(単位:円)

科 目		金 額	
I 経常収益			
1	受取会費		
	正会員受取会費	150,000	
	賛助会員受取会費	260,000	410,000
2	受取寄附金		
	受取寄附金	530,000	530,000
3	受取助成金等		
	受取補助金	780,000	
	受取助成金	0	780,000
4	事業収益		
	事業収益	50,000	50,000
5	その他収益		
	雑収入	0	
	受取利息	0	0
経常収益計			1,770,000
II 経常費用			
1	事業費		
	(1)人件費		
	臨時雇用賃金		
	給料手当	320,000	
	人件費計	320,000	
	(2)その他経費		
	会議費	9,000	
	旅費交通費	8,000	
	通信運搬費	80,000	
	消耗品費	96,000	
	水道光熱費	60,000	
	地代家賃	739,200	
	印刷製本費	36,000	
	保険料	27,000	
	諸謝金	20,000	
	雑費		
	その他経費計	1,075,200	
	事業費計		1,395,200
2	管理費		
	(1)人件費		
	給料手当	80,000	
	人件費計	80,000	
	(2)その他経費		
	会議費	0	
	旅費交通費	2,000	
	通信運搬費	20,000	
	消耗品費	24,000	
	水道光熱費	15,000	
	地代家賃	184,800	
	印刷製本費	9,000	
	保険料	0	
	支払手数料	30,000	
	諸会費	10,000	
	雑費	0	
	その他経費計	294,800	
	管理費計		374,800
経常費用計			1,770,000
当期経常増減額			0
III 経常外収益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			0
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			0
前期繰越正味財産額		20	636,755
次期繰越正味財産額			636,755